

## 見て、触れて、追体験する展示

ミュージアムが建つ場所は、かつて国内有数の兵器工場であった「小倉陸軍造兵廠そうへいしょう」があり、長崎に投下された原子爆弾の第一目標でした。館内には当時の暮らしを物語る日用品や、空襲にまつわる数多くの実物資料と、最新の映像・音響技術を使った展示を行っています。

### プロローグ(米軍偵察写真)

館内に入ると右側の壁全面に、当時の米軍機がとらえた小倉陸軍造兵廠の航空写真があります。昭和20年(1945年)8月9日、原爆投下第一目標とされていた場所に建つミュージアムの象徴的な写真から展示が始まります。



### 1 戦前の北九州

北九州のまちが日本を代表する工業都市として発展する様子と軍との関わりを紹介しています。小倉陸軍造兵廠をリアルに再現するプロジェクションマッピング(壁などに映像を投影する技法)もあります。



### 3 広がる戦争と空襲

市民を襲う空襲など被害の広がりを、地図や写真・実物資料などで伝えます。110本もの筒状の焼夷弾が束になった実物大模型爆弾のほか、空襲警報の音を再現するコーナーもあります。



### 2 戦争と市民の暮らし

戦時下の一般的な家庭の暮らしや子どもたちの生活が分かる展示コーナー。防火すごろくや防空頭巾など実際に体験することもできます。通路の空間には「風船爆弾(7分の1模型)」も展示しています。



### 360度シアター

昭和20年(1945年)8月8日に起きた八幡大空襲、翌9日原爆を搭載した爆撃機が小倉上空に飛来した後、長崎に向かった出来事を360度スクリーンの臨場感ある映像で追体験できます。



### 4 終戦の混乱と戦後復興

北九州のまちが復興の歩みを進める過程を資料と映像で紹介します。5分間の動画を見るだけでも、再生するまちの活気ある息吹が伝わります。



### エピローグ(平和の樹)

最後のコーナーは、参加型体験展示。タッチパネルに感想を書き込むと、大画面上の大木の枝に、書き込んだ感想が「葉」となり、広がっていきます。

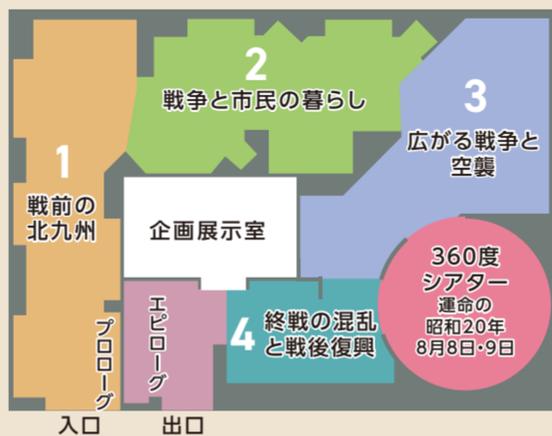


### 施設概要

小倉北区内4-10 ☎592・9300 開9時30分～18時(入館は17時30分まで) ※8月5日(金)～9日(火)は20時まで 休月曜日(祝・休日の場合は火曜日)、年末年始 ※8月8日(月)・15日(月)は開館し、8月16日は休館  
料一般200円 中・高校生100円 小学生50円(市民は7・8月は無料) 駐車場は有料。詳細は [問](#) を。



▲ホームページ「平和のまちミュージアム」



### 企画展「原子爆弾と模擬爆弾“パンプキン”」

テーマに沿って、所蔵品や他のミュージアムからお借りした資料をもとに、企画展を実施します。

8月28日(日)まで企画展「原子爆弾と模擬爆弾“パンプキン”」を開催中。米軍が原爆投下の練習に用いた模擬爆弾「パンプキン」について、多くの資料とともに紹介します。長崎原爆資料館からお借りした、貴重な実物資料も展示しています。

### 映画「祈り-幻に長崎を想う刻」上映と戦争体験を巡る対談

[日時] 8月12日(金) 13～16時  
[場所] ムーブ(小倉北区大手町)  
※申込方法など詳細については [問](#) を。

### 戦争を知らない世代が、知らない戦争を語り継ぐために

時間が経過すればするほど、過去の戦争の記憶は失われていきます。平和のまちミュージアムは、こうした戦争の記憶を保存、継承するためにつくられた施設です。北九州のまちは昔、軍隊との関わりが深く、そのため戦争の影響を大きく受けたという歴史があります。ミュージアムの展示は、過去にこのまちで起きた出来事を語りかける、心に残るようなものになっています。このミュージアムに来て頂き、当時を生きた人々の経験や気持ちに思いをはせ、平和の大切さについて考える輪を広げてほしいと思います。



平和のまちミュージアム 学芸員 小倉 徳彦

この特集に関するお問い合わせ 平和のまちミュージアム ☎ 592・9300